

止まらない値上げラッシュ いちばん有効な対策

消費税5%減税

インボイスは中止



消費税廃止各界連絡会の宣伝
(「しんぶん赤旗」提供)

岸田内閣の物価高対応

評価しない	産経・FNN	77.4%
	共同	70.5%
	日経	69%
	毎日	68%

17~18日調査。「日経」は16~18日

世界100カ国近くが減税を実施

政府の対策は、ガソリン補助の延長など従来型。低所得者への給付金は、住民税非課税に限り昨年度末10万円だったのが5万円に縮小です。

物価対策で一番有効なのは消費税の減税です。世界97の国・地域で実施されています(21日現在)。日本も決断すべきです。

統一協会



集会でオンラインの発言を聞く参加者。16日、東京都内(共産党ホームページより)

靈感商法対策弁連が声明

統一協会による被害救済に取り組んできた全国靈感商法対策弁護士連絡会が16日、全国集会を開催。宗教法人法に基づく解散命令の請求を行政に求める声明を採択しました。

集会では「統一協会は単なる宗教団体ではない。資金づくりを担う事業部門や、各国の政権に何でも食い込もうとアプローチする政治部門、新聞などで主張を発信する部門などを添えた複合体だ」との指摘がありました。また「身近な人に相談もさせず、『やめる自由』を事実上なくして信仰させてしまう。信仰の自由を侵害している」などの意見が出されました。

法にもとづく解散命令を

アベノミクス転換を

6500品目値上げ

物価の上昇が止まりません。10月は食品だけで6500品目超が値上げを予定。まさに「値上げの秋」(「毎日」21日付)です。

輸入物価指数は178.7と2倍に迫る勢い。国内物価指数より激しく上昇しています。輸入物価高騰の原因の半分は円安。145円台に迫る円安は約24年ぶりです。円安はトヨタなど輸出大企業には大きなもうけになりますが、中小企業・小売店には燃料・原材料値上げが直撃しています。

異次元の金融緩和が根っこ

円安をつくり出したのは「異次元の金融緩和」をはじめとするアベノミクス。値上げラッシュの根っこにあるアベノミクスを転換するべきです。

消費者と中小企業の双方に負担軽減となる消費税の5%への減税を実施し、消費税を減免されていた小規模事業者などに新たな税負担を押し付けるインボイス(適格請求書)制度導入は中止すべきです。

日本共産党